

## 第1回意見交換会の要約

第1回小豆川、入道川流域懇談会では、委員の方々の川への考え方や川との接し方についてお聞かせいただいた他、今後の川づくりに対してさまざまな角度から貴重なご意見をいただきました。

これらの意見の概要を整理しますと、以下に示す4項目に集約されます。

- ①治水計画
- ②川のコンセプト
- ③河川工事
- ④教育

以下に、項目ごとの意見の概要を示します。これらの意見を今後の検討に反映したいと思います。

### ①治水計画に関する意見

- ・治水の案を複数出し、その中から絞り込んでいくような検討の方法を希望する。
- ・上流部に遊水地を造るより、大雨を小豆川に流す方法が一番経費も安く現実的。

### ②川のコンセプトに関する意見

- ・市民がウオークラリーなどができるような共存できる川であればいいと思う。
- ・石を部分的に置けばそこに虫が集まって来る。虫のいる所には魚も来るので、そのような配慮をしていただきたい。
- ・川の中に大きな石を入れ、瀬をつくると空気中の酸素が入り、水がきれいになり、その石にまた生き物が来る。この関係の専門家の知恵も活用すべきだ。
- ・昔は川で泳いだり、釣りをした。これからの子供たちにもそういう場である川づくりを。

### ③河川工事に関する意見

- ・地域や時期を考えて工事を行い、工事による影響を最小限にして欲しい。
- ・現在あるものを保全しながら行うことが望ましい。

### ④教育に関する意見

- ・学校の総合学習の時間に自然環境については多く取り上げられているが、治水やその歴史もついても教育が必要だと思う。